

拝啓

NO1

奥さまも幾分か和らいで来た今日、この春に息子の
中学校卒業と同じくして支援を卒業させて頂くことに
対し誠にありがとうございます。

私達、家族に笑顔を取り戻して頂き感謝致して
おります。

支援を受ける前、不登校に陥った息子に対して私達
親は、もうどうすることもできず、状態でした。

中1の6月から腹痛で遅刻するようになりました。それが
5雨登校の始まりだとは夢にも思いませんでした。

始めの頃は主人も心配で、いじめられていたのか、勉強
からくるストレスかと、あれこれ考え病院へ連れて行くこと
しましたが本人は「病気と違い」と拒否

親の対応に息子は答えず、お互いがいつか暴言の
吐き合いや暴力まで出てあげく部屋に閉じこもる
母の私は宥める、引きこもりに対し、対し、対し、願う
を日々毎日でした。

解決の糸口は見つからず、変化する息子に、お口おあ
ばかりで主人は、とうとう「もう知らん」と放棄するまでに
不登校になってしまった息子は昼夜逆転、グーイニ味
顔つきも変わってしまい、どんどん壊れていくようになりました。
主人の放棄と板挟みに対し、私自身もおかしくな
りました。不登校に、対し、誰にも相談できず、やっ
と見つけた市の教育相談の方に話を聞いて頂くことで
精神状態を保つたのだと思います。

市の教育相談の方は学校に行けず、対し、息子に対して
「待ちましょ、娘は、今、疲れを癒している時なので、自分

動ける日が来るまで待ちましょー」でした。

いったい、いつ動けるの、このまま引きこもり、ニート？

私がレベルを引いたから、中学受験させたから、私の選択が間違っていたのか、これだけ自分自身を責めたでしょーか。

このまま何年も動き出さずまで待つのは考えられませんでした。

苦手なパソコンに向い、「不登校」で検索すると多くの数がありました。この時、始めて五雨登校が不登校だと知りました。原因を見ると我が子に当てはまるものがたくさんあり、子供らしくしてやったと思いがにはおられませんでした。

「もう手遅れや」と言った息子であるので学校には戻れないか

かも、フリースクール 親の元から離して環境を変えれば？

いや、そんな事をしたら息子は親に見放されたと思いのぞいおやっおやっ私達の手で元に戻したい。訪問カウンセリングして頂ける機関を探しました。

思った以上にたくさん支援機関があり、これを信じて……のか

知らず、おた中、中学受験サイトの中にバズリンクキャンプで支援を受けている方がおられ、ホームページを見ました。

さっとバズリンクキャンプにお願、すれば息子を助けて頂けるより早いメール相談すると早い返信が嬉しかったので。

水野先生と直接お電話でお話できたのもラッキーでした。

先生の之本を送り頂き、読み手に私達親はたいて酷い対応を息子にしてきたのだろーかと思いました。

先週も、過干渉、子供が失敗しないようにお叱りしてきたんです。

いつまでも幼い、子供のように対応してました。

これでは、新しい環境の中へ適応していきることが出来なかったのは当然、です。

中2の6月から支援を受け始めて提出した会話1十は
X印の赤ペンで「っお」でした。

今まで当たり前にしてきた行動や会話が楽しい、不登校
にさせていたおんて、月かりりに落ちるおんてでした。

又、学校に行けおん、息子に冷した対応をおんのは驚き
でした。息子に考える時を与えるのに必要だったおんてです。

1十の会話は1日で12.3ページにもおんて私
かおんが話しているおんてに気づかされました。

先週りばおん、これでは息子が考える行動をきおんのは
当然です。PCMを学ぶことで私の過干渉、先週りも
減ると息子にも変化があらわれた。

初めてのコーチングにお越し頂いた時、息子が2学期から
学校に行くに決め涙を流して「ごめんおん、これから学校
にちゃんと行きます」と言お言葉は忘れられません。
たくさん友達のおん学校に戻りたかったおんて
支援をお願いして3ヶ月程で復学をきおんて夢のおんて
息子を元の学校に戻お選択は間違っていないおんてと
確信しました。

しかし、復学してからも問題はたくさんありました
中高一貫校の進学校でおんて勉強の進めおんは、おんか
おんか取り戻せおん、おんておん「高校におん」と言い続け
た息子、外部受験を検討おん段階におんて
訪問の先生方の手を煩おんてしました。

アラドの高、息子のおんて現実を受けおんておん
「本気でやったらおんておんて出来る」と思お息子に根気
よく先生方はつき合おんて下おんてしました。

ゲームに関しては次から次へと問題を起こす
その度にⅣ-Ⅴを決め、息子に合本対応を頂き
親のⅢⅤでの姿勢の対応がどれ程大切か教える
頂きました。

中るにたい外部受験決定後、ずっと塾を拒否していた
息子に塾導入して頂き、やっと受験に向えると思いましたが、
なかなか思ひ通りに進みませんでした。

塾中、夏休みも終わる頃、息子もこれだけ馬目だと思
い、塾を退け、やる気を出したものの宿題の多さや
目標とする高校のレベルの高さからストレスをかけた、腹痛を
起こすようになったり学校も塾も休みようになったり継続登校の
難しさを改めて感じました。

受験の無い、中高一貫校、進路指導も無し受験
モードに入れた環境でした。学校では別扱、を嫌、
周りの空気を読みながら皆と同じように学校生活を
送っていました。息子を見守り、焦る気持ち
水野先生や森田先生にじっくりから親の問題
子の問題と分け考え子で乗り越えられたと思います。
息子は塾で厳しいことを言いながらも続けられたのは
森田先生の訪問で救われていたのだと思います。
森田先生の励ましでやる気を取り、現実の自分を見、
自分に合った高校選ぶも出来るようになった。
森田先生からした時は「勉強する」という位置づけが
出来ていました。受験前2日にはちゃんと10時間も
勉強していました。やっぱりできる息子を嬉しく見ていました。

いつも息子の気持ちに沿って、つらから勉強を進めて下さった
 森田先生、塾だけでは合格の文字は無かったと思っております。
 本当にありがとうございました。

そして希望する高校に合格でき、息子の中では
 不登校は過去のものと割り再出発できずのも
 水野先生、森田先生、P3インツキキャンプの先生方の
 お陰です。朝早くから夜遅くまで対応頂き、どれ程
 強い気持ちのかけがえありません。

感謝の言葉をいくつ並べても足りません。

1年4月と長い支援期間で皆様とお別れするのは
 寂しい限りですが、これからも息子の成長していく姿を
 御報告させて頂ければと思っております。

夫婦力を合わせて、さらに家庭教育を深めていき
 たいと思っております。

水野先生、森田先生、P3インツキキャンプの先生方
 全国を駆けめぐり日々、お忙しいとは思いますが
 どうかお体ご自愛下さい。

敬具